

「自学・自治・創造の教育」研究推進計画

(1) 研究主題

「ひとり立ち」する子どもの育成
～自ら考え、なかまと関わり合いながら学びを深める子どもの育成～

(2) 主題について

本校では、伝統ある「自学・自治・創造」の精神に則り、また、学習指導要領の改訂に伴い、「ひとり立ち」していく子どもの姿を次のように設定している。

「ひとり立ち」していく子どもの姿

○分からないことを見つけ、調べたり聞いたりしながら、問題解決しようとする子ども

【主体的な学び】

○意見の違いを認め合ったり、分かったことを聞き手に説得したりしようとする力を身に付けた子ども【対話的な学び】

○学んだことを発展させたり、日常生活に生かそうとしたりする、さらには、他に生かせる分野を探そうとする子ども【深い学び】

与えられた問題を解決する姿に止まらず、対立する意見を認め合ったり、新しい知を生み出したり、新しい分野を開拓していく力を身に付けることをひとり立ちする子どもの姿と捉える。この「ひとり立ち」していく姿を目指し、これまで本校は、「学び方学習」に取り組んできている。「学び方」の育成は、学習への意欲や関心、自律性などを含む学習力の育成と考え、学習態度の基本「学ぶかまえ」・学習集団の基本「学ぶなかま」・学習方法の基本「学ぶ方法」の3つの視点を関連づけ、子どもの主体的な学びの基盤づくりを図ってきた。

昨年度は研究副題を「自ら考え、なかまと関わり合いながら学びを深める子どもの育成」として、新しい学習指導要領で求められる「学習・指導の改善、充実」を図り、「ひとり立ち」していく子どもの姿を目指して研究に取り組んだ。併せて、分からないことや課題を見つけ、進んで問題解決しようとする児童の姿を目指し、算数科を中心に、「ひとり立ち」する児童の姿に迫るために授業研究会を重ねてきた。授業者は研究主題に迫るため、本時における授業の視点を持って授業公開に臨んだ。授業後には視点を絞って協議をし、目指す姿に迫るために本時の手立ては有効であったかどうか、深く議論することができた。そして、授業研究会を行った後に全校で取り組んでいく共通実践内容を話し合い、一項目を設定した。本時において提案性のあった事柄や、全校が課題と感じている事柄について、共通実践として学校全体で取り組むことで、授業研究会のみならず日々の実践で研究を意識する取り組みとなった。また、B-PLAN を活用した活用力を高める授業づくりを通して、適用問題について工夫することができた。昨年度の研究から、次の2点が課題として挙げた。1つ目は、自分の考えを発表しようとするが、相手の考えをしっかりと聞いて根拠を持ちながら説明する力を十分に身につけられていないこと。児童の思考力・判断力を高めるために、発言をつなぎ、説明しきる力をどう育てていくか、研究を深める必要がある。2つ目に、話し合いを深め、新しい考えを生み出す学習展開を十分に行えていないこと。本時のねらいに迫るために、教職員との対話や児童同士

の対話の必然性を持たせる発問や「学習問題」について研究を深める必要がある。また、友達の考えを使って説明することが少しずつできるようになってきたが、個人差が見られた。

そこで、本年度も昨年度に引き続き、研究副題を「自ら考え、なかまと関わり合いながら学びを深める子どもの育成」として、授業改革を進めることとした。分からないことや課題を見つけ、調べたり聞いたりしながら見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動をふり返って次につなげる「主体的学び」、教職員との対話、子ども同士の協働を手がかりに、自己の理解を深め広げる「対話的な学び」、習得・活用・探求の過程の中で、算数科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、深く理解したり、情報を精査して考えを形成させたり、問題を見いだして解決策を考えたりする「深い学び」の実現をめざして、研究に取り組んでいきたいと考える。さらに、「ひとり立ち」する具体的な児童の姿として、問題解決型を超えて、問題を見出し、創造力を持てる子、自分の考えを言葉にして表すことができる子をめざし、研究を進めたい。

(3) 研究仮説

対話の必然性をしかける発問や学習問題を設定し、さらに子どもの発言をつなぎ説明しきる授業づくりを進めると、児童の思考力や表現力を高めることができるであろう。

(4) 研究の視点

○自分の考えと比べながら聞く（「話す」ために・「つなぐ」ために）

【「学ぶかまえ」の側面から】

○根拠をもって説明する（「言葉」をつなぐ・「思考」をつなぐ）

【「学ぶなかま」の側面から】

○考えを深めたり新しい考えを生み出したりする手立ての工夫（「話す」へ・「高め合い」へ）

【「学ぶ方法」の側面から】

○到達度問題集・B-PLAN 問題集を活用した児童の学力の把握

(5) 研究の内容

①自分の考えと比べながら聞く力を育てるための手立て

- ・子どもと考える学習規律
- ・基礎・基本の定着

②根拠をもって説明することを意識した授業展開

- ・教師が言葉を挟む必要のない「話し合い（聞き合い）」のルール作りとその段階的な指導
- ・適用題の工夫

③考えを深めたり新しい考えを生み出したりする手立ての工夫

- ・児童の意識に沿いながら焦点化された「学習問題」の設定
- ・「考える」必然がある発問の工夫
- ・「ひとり学び」に取り組む時間の確保

④ ICT を活用した授業実践